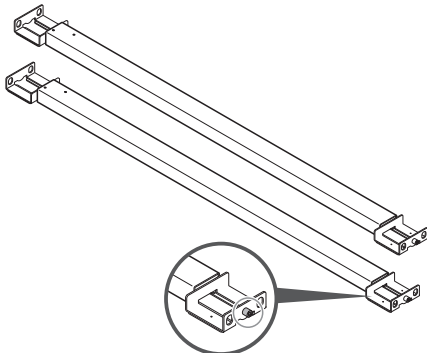
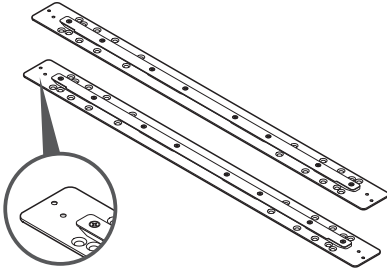
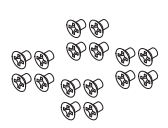
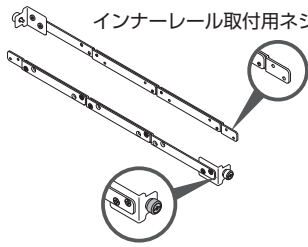
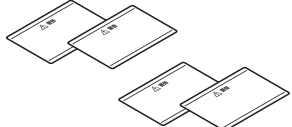
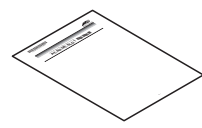
19インチ スライディング ラックマウントキット

AT-RKMT-SL01 取扱説明書

このたびは、19インチ スライディング ラックマウントキット AT-RKMT-SL01をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。

本製品は、アライドテレシス社製スイッチ製品をEIA規格の19インチラックに設置するためのスライドレール型のラックマウントキットです。本製品の使用により、19インチラックに設置されたスイッチ製品を前後にスライドさせることで、ラックから取りはずすことなく、容易に保守作業を行うことができます。特にサーバーラックなど奥行きの深いラック設置時の作業性が向上します。

1　対応機種

本製品の対応機種は下記のとおりです。他の機種ではご使用になれませんので、ご注意ください。

○ AT-DC2552XS
○ AT-x900-24XT
○ AT-x900-24XS
○ AT-x900-12XT/S

2　梱包内容

最初に梱包箱の中身を確認してください。

製品を移送する場合は、ご購入時と同じ梱包箱で再梱包されることが望まれます。再梱包のために、製品がおさめられていた梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管してください。

□ アウターレール　2個

ラックの支柱に取り付ける伸縮式のレールです。奥行きは600～960mmの間で無段階に調整できます。

ラックに付属のネジを計8個使用して取り付けます。

スライドレール固定用ネジ穴は、後述のアジャストブラケットをネジ留めすることで、スイッチが前後に動かないよう固定するためのものです。

□ インナーレール　2個

スイッチの両側面に取り付けるレールです。

スライドレールはアウターレールとインナーレールで構成されています。先にインナーレールをスイッチ本体に取り付けてから、アウターレールに差し込んでスライドさせます。

□ インナーレール用ネジ　16個
（M4×8 皿ネジ）

インナーレールをスイッチ側面に取り付けるためのネジです。使用するネジの個数とネジ穴はスイッチ製品によって異なります。

□ アジャストブラケット　2個

インナーレールに取り付けて、アウターレールに固定させることで、スイッチが前後に動かないようにするための金具です。固定を解除したときはレールを動かすためのハンドルの役割もします。

金具の組み合わせかたで長さを7段階に調整できるので、スイッチをレール上のどの位置に固定するか選ぶことができます。

□ アジャストブラケット用ネジ　4個
（M3×4 皿ネジ）

アジャストブラケットをインナーレールに取り付けるためのネジです。

□ 警告ラベル　4枚（うち2枚は予備）

ラックに取り付けたまま保守作業をするとき、スイッチをラック支柱よりも手前に引き出さないよう警告するためのラベルです。スイッチの天面と底面に貼付してください。

□ 取扱説明書（本書）　1部

本書です。取扱説明書をよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。また、スイッチ本体に付属の取扱説明書もあわせてご確認のうえ、適切に設置を行ってください。

3　設置する前に

設置を始める前に、次の点をご確認ください。

設置するときの注意

設置については、次の点にご注意ください。

○　電源ケーブルや各メディアのケーブルに無理な力が加わるような設置はさけてください。
○　テレビ、ラジオ、無線機などのそばに設置しないでください。
○　傾いた場所や、不安定な場所に設置しないでください。
○　直射日光の当たる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。
○　対応機種以外には取り付けないでください。

インナーレールのネジ留め位置について

インナーレールの取り付けに使用するネジの個数とネジ穴は、スイッチ製品によって異なりますので、下図を参照して、事前に確認するようにしてください。また、スイッチの前面または背面のどちらをラックから引き出す面にするかを確認して取り付けてください。

○　AT-DC2552XS
片面8個、合計16個のネジを使用します。

AT-DC2552XS 側面

インナーレール

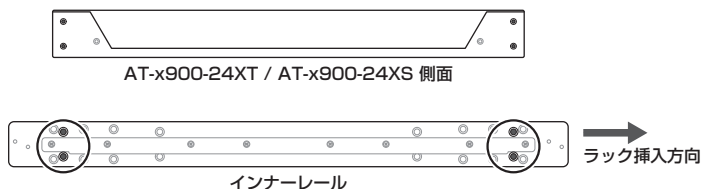
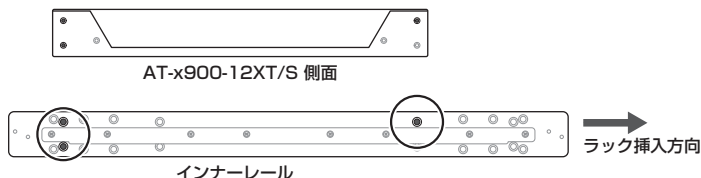
○　AT-x900-24XT / AT-x900-24XS
片面4個、合計8個のネジを使用します。

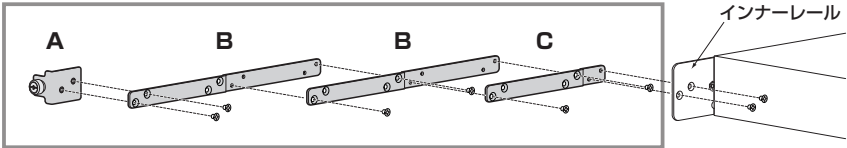
AT-x900-24XT / AT-x900-24XS 側面

インナーレール

○　AT-x900-12XT/S
片面3個、合計6個のネジを使用します。

AT-x900-12XT/S 側面

インナーレール

アジャストブラケットの長さについて

アジャストブラケットは、4個の金具と6個のネジ（M3×4 皿ネジ）で構成されていて、ご購入時には、下図のような組み合わせでネジ留めされています。

A	固定金具	1個
B	延長金具（長）	2個
C	延長金具（短）	1個

金具の組み合わせかたで長さを7段階に調整できます。延長金具使用時のブラケットの長さ、および金具の組み合わせとネジ留め位置については下表を参照してください。
ご購入時には5番の組み合わせでネジ留めされていますので、必要に応じて付け替えてください。

インナーレールに直接取り付けることができるのは、**A**=固定金具と、**C**=延長金具（短）だけです。
B=延長金具（長）は、必ず固定金具と延長金具（短）の間で使用してください。

—	延長金具	ネジの数	金具の組み合わせとネジ留め位置
1	—	0個	
2	**C**	2個	101mm
3	**B+C**	4個	202mm
4	**B+C**	4個	277mm
5	**B+B+C**	6個	303mm
6	**B+B+C**	6個	378mm
7	**B+B+C**	6個	453mm

4　取り付けかた

警告

- 本書に記載されていない方法による設置を行わないでください。不適切な方法による設置は、火災や故障の原因となります。
- インナーレール、アジャストブラケット用ネジは必ず同梱のものを使用してください。同梱以外のネジなどを使用した場合、火災や感電、故障の原因となることがあります。
- アウター / インナーレール、アジャストブラケットを取り付ける際は適切なネジで確実に固定してください。固定が不充分な場合、落下などにより重大な事故が発生する恐れがあります。
- ラックへの取り付け･取りはずしの際には、スイッチの電源をオフにして、電源ケーブルや各メディアのケーブルを取りはずしてください。

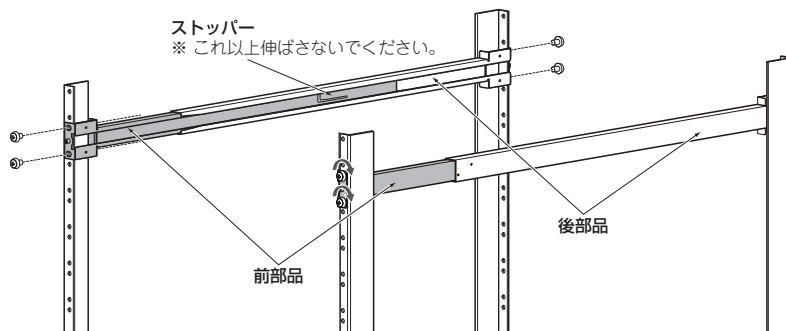
注意

- ラックは次の要件を満たすものを使用してください。

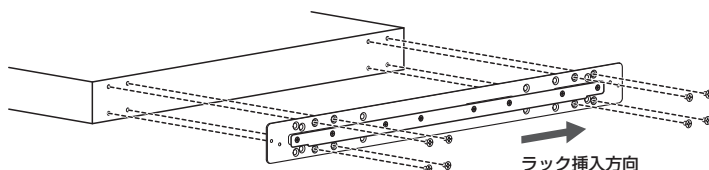
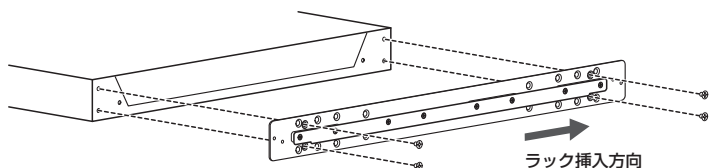
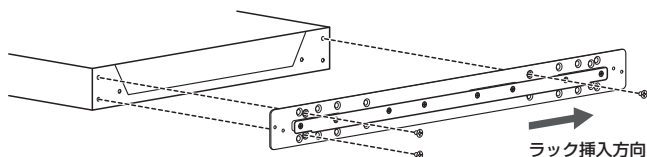
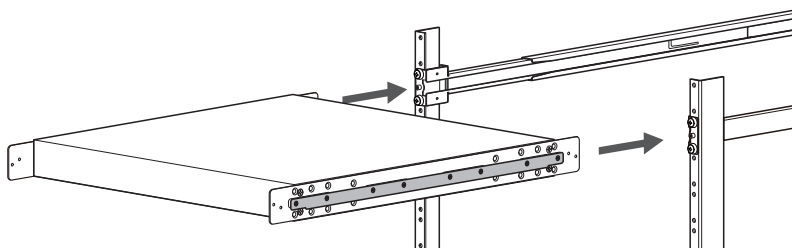
  ラックの奥行き（ラック支柱前後間）が600mm以上 960mm以内
  ラックの幅（ラック支柱左右間）が452mm以上
  ラック支柱の奥行き35mm以内（アウターレール取り付けのため）
  ラック支柱のネジ穴中心部から左右壁面までの間隔が10mm以上（アウターレール取り付けのため）

- 取り付けの前にドライバー、ラックに付属のネジなど必要な道具や部品がそろっているか確認してください。ラックに付属のネジは8個必要です。

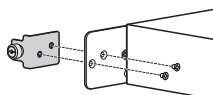
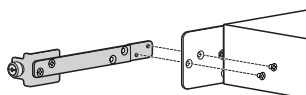
1　ラックに付属のネジを使用して、ラック支柱にアウターレールを取り付けます。
アウターレール1個につき4個、合計8個のネジを使用します。
アウターレールは前部品と後部品で構成されています（それぞれ「FRONT」、「REAR」の刻印があります）。アジャストブラケットは前部品に固定しますので、取り付けの前に前後の向きを確認してください。

警告

- アウターレールの奥行きは最長960mmです。960mm以上は伸ばせないようレールにストッパーが加工されていますが、無理にはずして伸ばさないでください。レールの破損やスイッチの脱落の恐れがあります。
- アウターレールをラック支柱に取り付けるときは、必ず水平に取り付けてください。水平でない状態で、スイッチを無理に差し込んだ場合、スイッチの故障や脱落の恐れがあります。

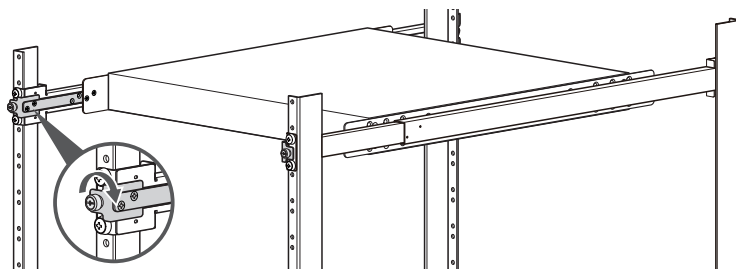
2 同梱のインナーレール用ネジを使用して、スイッチ本体にインナーレールを取り付けます。
インナーレールには上下があります。インナーレールのパネル内側に「↑ UP」の刻印がありますので、矢印の方向を上にして取り付けてください。
また、スイッチの前面または背面のどちらをラックから引き出す面にするかを確認して取り付けてください。
取り付けに使用するネジの個数とネジ穴は、スイッチ製品によって異なります。詳細は「**インナーレールのネジ留め位置について**」を参照してください。

○ AT-DC2552XS
片面8個、合計16個のネジを使用します。

○ AT-x900-24XT / AT-x900-24XS
片面4個、合計8個のネジを使用します。

○ AT-x900-12XT/S
片面3個、合計6個のネジを使用します。

3 インナーレールがスイッチ両側面に取り付けられたら、スイッチを持って、アウターレール内側の溝と、インナーレールの突起部分を合わせて滑り込ませます。インナーレールがアウターレールからはずれていないことを確認しながら、奥まで押し込みます。
スイッチを挿入しにくい場合や、前後に動かしにくい場合は、アウターレールをラック支柱に固定しているネジを少しゆるめて左右のレール間隔を調整してください。

警告 スイッチを持ち上げるときは落下に充分注意してください。また、ラック挿入時にレールに指をはさまれないよう充分注意してください。

4 ラックの奥行きに対してスイッチをどの位置で固定するかを確認してください。
確認ができたら、アジャストブラケットを適切な長さに調整します。
金具の組み合わせとネジ留め位置については「**アジャストブラケットの長さについて**」を参照してください。

5 一度ラックからスイッチを引き出し、同梱のアジャストブラケット用ネジを使用して、インナーレールにアジャストブラケットを取り付けます。
インナーレールの外側にアジャストブラケットをあて、内側からネジ留めします。下図は、「**アジャストブラケットの長さについて**」の表内1番、2番の取り付け例です。

固定金具のみ　　**固定金具＋延長金具（短）**

注意 延長金具（長）は、必ず固定金具と延長金具（短）の間で使用してください。インナーレールに直接取り付けることはできませんので、ご注意ください。

6 同梱の警告ラベルをスイッチの天面と底面の2か所、ラックからスイッチを引き出したときにすぐに見える位置に貼付してください。

7 再びラックにスイッチを押し込み、アジャストブラケットの固定用ネジをアウターレールのネジ穴に入れてしめます。

- 保守作業時以外は、必ずアジャストブラケットをアウターレールにネジ留めしてスイッチが前後に動かないよう固定してください。固定されていない場合、ラック移動時や地震発生時にスイッチが飛び出して落下する恐れがあります。
- ラックに取り付けたままスイッチの保守作業をするときは、ラック支柱よりも手前にスイッチを引き出さないでください。また、引き出すときはゆっくりと引くようにしてください。ラック支柱よりも手前に引き出したり、勢いよく引いたりすると、スイッチが落下する恐れがあります。
  ラック支柱よりも手前に出す必要があるときは、スイッチをラックから完全に取りはずしてください。

ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、次の「サポートに必要な情報」をご確認のうえ、弊社サポートセンターへご連絡ください。

アライドテレシス株式会社　サポートセンター

http://www.allied-telesis.co.jp/support/info/

Tel: 0120-860772
携帯電話/PHSからは: 045-476-6203
月～金（祝・祭日を除く）9:00～12:00
13:00～17:00

ご注意

本書に関する著作権等の知的財産権は、アライドテレシス株式会社（弊社）の親会社であるアライドテレシスホールディングス株式会社が所有しています。
アライドテレシスホールディングス株式会社の同意を得ることなく、本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。
弊社は、予告なく本書の全体または一部を修正・改訂することがあります。
また、弊社は改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

廃棄方法について

本製品を廃棄する場合は、法令・条例などに従って処理してください。詳しくは、各地方自治体へお問い合わせいただきますようお願いいたします。

輸出管理と国外使用について

お客様は、弊社販売製品を日本国外への持ち出しまたは「外国為替及び外国貿易法」にいう非居住者へ提供する場合、「外国為替及び外国貿易法」を含む日本政府および外国政府の輸出関連法規を厳密に遵守することに同意し、必要とされるすべての手続きをお客様の責任と費用で行うことといたします。
弊社販売製品は日本国内仕様であり、日本国外においては製品保証および品質保証の対象外になり、製品サポートおよび修理など一切のサービスが受けられません。

マニュアルバージョン

2012年 6月　Rev.A　初版